02－01－100　ブルドーザ運転

21ｔブル　土砂・軟岩Ｉ（Ａ）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	152kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.16	1／6.3h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－160　ブルドーザ運転

13ｔ湿地ブル　土砂・軟岩Ｉ（Ａ）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－190　ブルドーザ運転

16ｔ湿地ブル　土砂・軟岩Ｉ（Ａ）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	102kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－220　ブルドーザ運転

３ｔブル　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	24	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.58	指定事項　排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：~~01－01－040 盛土敷均し~~01-01-030 山地治山土工における盛土工（敷均し）（狭幅）に適用する。

02－01－222　振動ローラ運転

搭乗式・コンバインド型　３～４ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	17	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.60	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：~~01－01－045 盛土締固め~~01-01-040 山地治山土工における盛土工（締固め）（狭幅）に適用する。

02－01－224　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.8～1.1ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	6.1	指定事項
特殊作業員	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.44	指定事項
計			

備考：~~01－01－045 盛土締固め~~01-01-040 山地治山土工における盛土工（締固め）（狭幅）に適用する。

02－01－225　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.5～0.6ｔ（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	12	指定事項
特　殊　作　業　員	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.71	指定事項
計			

備考：01-01-~~030~~050 林道事業における盛土（1）（締固め）に適用する。

02－01－226　振動ローラ運転

搭乗式・コンバインド型　3～4ｔ（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.86	指定事項 排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-~~030~~050 林道事業における盛土（1）（締固め）に適用する。

02－01－230　タイヤローラ運転

８～20ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	7.00	71kW×0.098
運転手（特殊）	人	0.20	1／5.0h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－240　バックホウ運転

クローラ型　0.28m3(0.20m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.90	41kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－245　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	69	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.64	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-~~030~~050 林道事業における盛土（1）（敷均し）に適用する。

02－01－270　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	排出ガス対策型(第１次基準値)
計			

02－01－275　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(時間)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－280　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　~~標準~~後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.54	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(~~第３次基準値~~2014年規制)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

~~02－01－285　バックホウ運転~~

~~クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~58~~	~~指定事項~~
~~運転手（特殊）~~	~~人~~	~~1.00~~	~~指定事項~~
~~機　械　損　料~~	~~供用日~~	~~1.47~~	~~指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)~~
~~計~~			

~~備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工）に適用する。~~

02－01－287　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	65	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.49	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工：林道工事における5,000㎥未満及び制限の有無-あり）に適用する。

02－01－290　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　破砕岩（中硬岩・硬岩）　(時間)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機械損料(＋0.25)	時間	1.00	排出ガス対策型(第１次基準値)
計			

02－01－295　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　~~標準~~後方超小旋回型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.54	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(~~第３次基準値~~2014年規制)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

~~02－01－296　バックホウ運転~~

~~クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~58~~	~~指定事項~~
~~運転手（特殊）~~	~~人~~	~~1.00~~	~~指定事項~~
~~機械損料(＋0.25)~~	~~供用日~~	~~1.47~~	~~指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)~~
~~計~~			

~~備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工）に適用する。~~

02－01－297　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　後方超小旋回型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	65	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.49	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工：林道工事における5,000㎥未満**及び制限の有無-あり**）に適用する。

02－01－300　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－305　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-03-240 人力併用機械掘削（片切）に適用する。

02－01－310　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.47	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

02－01－315　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.42	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工**：制限の有無-なし**）に適用する。

02－01－320　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機械損料(＋0.25)	時間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－325　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.47	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

02－01－326　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.42	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工**：制限の有無-なし**）に適用する。

02－01－340　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.45	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：山地治山工）に適用する。

02－01－345　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.54	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：一般土工）に適用する。

02－01－350　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　~~標準~~**後方超小旋回**型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.56	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(~~第３次基準値~~**2014年規制**)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：山地治山工）に適用する。

~~02－01－355　バックホウ運転~~

~~クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)~~

~~種　別~~	~~単　位~~	~~数　量~~	~~摘　要~~
~~軽　油~~	~~ℓ~~	~~58~~	~~指定事項~~
~~運転手（特殊）~~	~~人~~	~~1.00~~	~~指定事項~~
~~機械損料~~	~~供用日~~	~~1.45~~	~~指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)~~
~~計~~			

~~備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：一般土工）に適用する。~~

02－01－357　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　別	単　位	数　量	摘　要
軽　油	ℓ	65	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.52	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：一般土工及び林道工事）に適用する。

02－01－360　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　別	単　位	数　量	摘　要
軽　油	ℓ	94	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.49	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：01－01－250 作業土工（床掘工）に適用する。

02－01－365　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　~~標準~~後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　別	単　位	数　量	摘　要
軽　油	ℓ	~~58~~65	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	~~1.39~~1.43	指定事項 超低騒音型・ 排出ガス対策型（~~第３次基準値~~ 2014年規制）
計			

備考：01－01－250 作業土工（床掘工）に適用する。

02－01－380　タンパ運転

60～80kg級（法面用）　(日)

種　別	単　位	数　量	摘　要
ガソリン	ℓ	6.00	3.0kW×0.398×5.0時間
特殊作業員	人	1.00	
機械損料	日	1.00	
計			5.0h／日運転

備考：01－02－320 人力盛土法面整形（土羽打）に適用する。

02－01－385　タンパ運転

60～80kg級　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	5.20	指定事項
特　殊　作　業　員	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.38	指定事項
計			

備考：~~01－01－600 機械埋戻工（林道事業）~~01-01-610 埋戻工、01-01-620 締固め（山地治山土工）に適用する。

02－01－386　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.5～0.6ｔ（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	12.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.44	指定事項
計			

02－01－390　ベルトコンベア運転

エンジン駆動７ｍ（土工・法面用）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	7.80	1.3ℓ（＝2.6kW×0.512）×6.0ｈ
			特殊作業員は作業歩掛に含む
機　械　損　料	日	1.00	
計			6.0h／日運転

02－01－400　空気圧縮機運転

（可搬式・エンジン掛）5.0m3／分　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	28.00	6.2ℓ（＝39kW×0.159）×4.5ｈ
機　械　賃　料	日	1.00	
計			4.5h／日運転

備考：01－03－110 火薬使用の岩石掘削（山地治山工）、01－03－230 火薬併用機械掘削（片切）、01－03－240 人力併用機械掘削（片切）、01－03－250 人力掘削（片切）に適用する。

02－01－410　空気圧縮機運転

（可搬式・エンジン掛）5.0m3／分　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	37.00	（39kW×0.159）×6.0ｈ
機　械　賃　料	日	1.00	
計			6.0h／日運転

備考：01－03－120 人力掘削（山地治山工）に適用する。

02－01－430　大型ブレーカ運転

600～800kg級　軟岩Ⅰ（Ｂ）・軟岩Ⅱ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.40	65kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機械損料（＋0.10）	時　間	1.00	バックホウ0.45m3(0.35m3) 超低騒音型 排出ガス対策型（第３次基準値）
機　械　損　料	日	0.17	大型ブレーカ
計			

備考：01－03－130 大型ブレーカ掘削（山地治山工）に適用する。

02－04　コンクリート工機械運転

02－04－010　コンクリートポンプ車運転

ブーム式　90～110m3/h　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	13.00	199kW×0.066
運転手（特殊）	人	0.15	1／6.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－04－030　ケーブルクレーン運転

（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	35.00	48kW×0.108×6.7h
特殊作業員	人	1.00	
機　械　賃　料	日	1.00	ウインチ（別途計上）
計			6.7h／日運転

備考：04－09－700 治山ダム型枠の設置に適用する。

02－04－100　ダンプトラック運転

オンロード・ディーゼル　4t積級　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	19.20	指定事項
運転手（一般）	人	0.89	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.02	指定事項
損　耗　費	供用日	1.02	指定事項
計			

備考：04－18－300　構造物補修工（断面修復工（左官工法））に適用する。

02－06　作工物機械運転

02－06－010　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	39.00	指定事項
運転手（特殊）	人	0.58	指定事項
機　械　賃　料	供用日	0.79	指定事項 排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：06－01－100・150 基礎砕石工、06－01－300 基礎栗石工（敷き並べ）に適用する。

02－06－020　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	61.00	指定事項
運転手（特殊）	人	0.90	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.00	指定事項 排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：06－01－200 裏込砕石工、06－01－400 裏込栗石工（かき込み）に適用する。

02－06－030　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~68.00~~69.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.00	指定事項 排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：06－01－300 基礎栗石工（敷き均し）に適用する。

02－06－040　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：06－09 鋼製自在枠工、06－14－300 丸太枠工(2)木製ブロック積工、06－17 簡易鋼製土留工に適用する。

02－06－045　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：06－06 鉄線篭工に適用する。

02－08　基礎工機械運転

02－08－260　溶接機運転

電気溶接機（ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式最大溶接電流300A）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~27.00~~24.00	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：08－07－100 既製杭頭処理工に適用する。

02－08－270　杭破砕機運転

杭径300～600mm用　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	1.30	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：08－07－300 既製コンクリート杭のカットオフ工に適用する。

02－08－280　杭破砕機運転

杭径700～1000mm用　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	1.30	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：08－07－300 既製コンクリート杭のカットオフ工に適用する。

02－08－290　電動式バイブロハンマ杭打機運転

普通型60kw　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	76.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.31	指定事項（バイブロハンマ 普通型60kw）
機　械　損　料	供用日	1.31	指定事項（クローラクレーン50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－300　電動式バイブロハンマ杭打機運転

普通型90kw　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	76.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.31	指定事項（バイブロハンマ普通型90kw）
機　械　損　料	供用日	1.31	指定事項（クローラクレーン50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－12　路盤工機械運転

02－12－010　振動ローラ運転

搭乗式・ダンデム型2.5～2.8ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	3.50	19kw×0.184
特　殊　作　業　員	人	0.23	1／4.4h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工~~、12－02－200 凍土抑制層（砂・火山灰）~~に適用する。

02－12－020　タンパ運転

60～80kg　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	6.00	（3.0kw×0.398）×5.0h
特　殊　作　業　員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			5.0h／日運転

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工~~、12－02－200 凍土抑制層（砂・火山灰）~~に適用する。

02－12－030　タイヤローラ運転

8～20ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	7.00	71kw×0.098
運転手（特殊）	人	0.20	1／5.0h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工~~、12－02－200 凍土抑制層（砂・火山灰）~~に適用する。

02－12－110　ブルドーザ運転

3ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.20	29kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工~~、12－02－200 凍土抑制層（砂・火山灰）~~に適用する。

02－12－120　ブルドーザ運転

15ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工~~、12－02－200 凍土抑制層（砂・火山灰）~~に適用する。

02－12－140　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工~~、12－02－200 凍土抑制層（砂・火山灰）~~に適用する。

02－12－151　バックホウ運転

クローラ型　0.28m3(0.20m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.90	41kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－152　小型バックホウ運転

クローラ型　0.13m3(0.10m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	21.00	（25kW×0.144）×5.7ｈ
運転手（特殊）	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－153　振動ローラ運転

搭乗~~式~~・コンバインド~~型~~式3～4ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.26	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－154　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.5～0.6ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	3.50	指定事項
特殊作業員	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.76	指定事項
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－160　モータグレーダ運転

ブレード幅3.1m　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.50	85kw×0.112
運転手（特殊）	人	0.20	1／5.1h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－15　共通仮設費機械運転

02－15－010　バックホウ運転

0.45m3（0.35m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－020　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－01－100 土のう締切工、15－08 大型土のう設置工、15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－040　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~25~~45ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~22.00~~46.00	指定事項
特殊作業員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第~~2~~3次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－045　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~35~~60ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~33.00~~56.00	指定事項
特殊作業員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第~~2~~3次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－070　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~60~~75ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~56.00~~68.00	指定事項
特殊作業員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第~~2~~3次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－090　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~100~~125ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~88.00~~112.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型(第~~2~~3次基準値)
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－100　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 200ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	200.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－110　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 250ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	248.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

02－15－120　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~25~~45ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~67.00~~137.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型(第~~2~~3次基準値)
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－125　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~35~~60ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~98.00~~168.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型(第~~2~~3次基準値)
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－150　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~60~~75ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~168.00~~204.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型(第~~2~~3次基準値)
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－170　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~100~~125ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~264.00~~336.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型(第~~2~~３次基準値)
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－171　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 200ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	600.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－172　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 250ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	744.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

02－15－180　発動発電機運転

ガソリンエンジン駆動　２ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	~~8.90~~9.30	指定事項
~~特殊作業員~~世話役	人	~~0.14~~0.04	指定事項
普　通　作　業　員		0.05	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.10~~1.08	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－181　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~5~~１５ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~6.70~~13.80	指定事項
~~特殊作業員~~世話役	人	~~0.14~~0.04	指定事項
普　通　作　業　員		0.05	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.10~~1.55	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－182　発動発電機運転

ガソリンエンジン駆動　２ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	~~28.00~~27.90	指定事項
~~特殊作業員~~世話役	人	~~0.17~~0.04	指定事項
普　通　作　業　員		0.05	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.10~~1.08	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－183　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 ~~5~~１５ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~20.00~~41.30	指定事項
~~特殊作業員~~世話役	人	~~0.17~~0.04	指定事項
普　通　作　業　員		0.05	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.10~~1.55	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－190　ブルドーザ運転

15ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－05 仮設道に適用する。

02－15－195　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－05 仮設道、15－20－700 伐開物集積積込作業（機械）に適用する。

02－15－196　ブルドーザ運転

11ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－05 仮設道、15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－200　クレーン付トラック運転

4ｔ積　2.9ｔ吊　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.30	132kw×0.040
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－07－500 仮設落石防護柵設置撤去に適用する。

02－15－230　ブルドーザ運転

15ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20	1／4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－240　ブルドーザ運転

21ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	152kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.16	1／6.3h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－250　潜水ポンプ運転

作業時排水（揚程15m以下）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項（口径150mm）
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項（口径200mm）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－~~270~~260　潜水ポンプ運転

常時排水（揚程15m以下）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項（口径150mm）
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項（口径200mm）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－270　潜水ポンプ運転

作業時排水（揚程10m以下）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.20	指定事項（口径250mm）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－280　潜水ポンプ運転

常時排水（揚程10m以下）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.10	指定事項（口径250mm）
計			

02－15－290　ダンプトラック運転

10ｔ車　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.80	246kw×0.040
運転手（一般）	人	0.17	1／5.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
タイヤ損耗費	時　間	1.00	良好
計			

備考：15－20－800 伐開物運搬に適用する。

02－15－300　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）（掴み装置付）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	バックホウ
機　械　損　料	時　間	1.00	掴み装置
計			

備考：15－20－700 伐開物集積積込作業（機械）に適用する。

02－15－400　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

後方超小旋回型・クレーン機能付き~~0.80~~0.45m3（~~0.60~~0.35m3）吊能力2.9ｔ~~吊~~（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~104.00~~63.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.39~~1.28	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（~~第3次基準値~~2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち製作・設置一連作業（バックホウによる~~掘付~~設置）に適用する。

02－15－410　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

後方超小旋回型・クレーン機能付き~~0.80~~0.45m3（~~0.60~~0.35m3）吊能力2.9ｔ~~吊~~（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~119.00~~65.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.44~~1.36	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（~~第3次基準値~~2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち製作・設置一連作業（ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝによる~~掘付~~設置）に適用する。

02－15－420　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

後方超小旋回型・クレーン機能付き~~0.80~~0.45m3（~~0.60~~0.35m3）吊能力2.9ｔ~~吊~~（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~119.00~~65.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.44~~1.36	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（~~第3次基準値~~ 2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち製作（単独作業~~=（製作~~）に適用する。

02－15－430　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

標準型・クレーン機能付き0.80m3（0.60m3）吊能力2.9ｔ~~吊~~　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~94.00~~99.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.36~~1.23	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（~~第3次基準値~~ 2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち~~単独作業=（~~設置（再設置を含む）に適用する。

02－15－440　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

標準型・クレーン機能付き0.80m3（0.60m3）吊能力2.9ｔ~~吊~~　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~78.00~~101.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.26~~1.21	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（~~第3次基準値~~ 2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち大型土のう撤去に適用する。

02－15－450　バックホウ（クローラ型）運転

標準型・クレーン機能付き0.80m3（0.60m3）吊能力2.9ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	110.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.38	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち大型土のう撤去（再利用）に適用する。

02－15－460　バックホウ（クローラ型）運転

標準型・クレーン機能付き0.80m3（0.60m3）吊能力2.9ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	110.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.52	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち大型土のう移設（撤去・再設置）に適用する。

02－15－~~450~~500　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~10.00~~121.00	指定事項
運転手（特殊）	人	~~0.68~~1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.00~~1.09	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－~~460~~510　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~65.00~~45.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	~~1.16~~1.47	指定事項　超低騒音型・排出ガス対策型（~~第2次基準値~~2014年規制）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－~~470~~550　バックホウ（~~クレーン仕様~~クローラ型）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	119	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.06	指定事項　排出ガス対策型（2014年規制）
計			

備考：15－06－300 仮設道敷鉄板に適用する。

02－15－600　クレーン装置付トラック運転

ベーストラック４ｔ積　吊能力2.9ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	33	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.26	指定事項
計			

備考：15－23－100 クリーンルーム設置撤去に適用する。

02－15－610　クレーン装置付トラック運転

ベーストラック４ｔ積　吊能力2.9ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	33	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.22	指定事項
計			

備考：15－23－200 負圧集塵装置設置撤去に適用する。

02－17　保安林整備機械運転

02－17－010　草刈機運転

肩掛式　1.3ｋＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
混　　合　　油	ℓ	5.20	（1.3kw×0.500）×8.0h
特　殊　作　業　員	人		別途計上
機　械　損　料	日	1.00	
計			8.0h／日運転

備考：17－01－010 筋刈地拵、17－01－020 全刈地拵、17－09－100 下刈に適用する。

02－17－020　レーキドーザ運転

11ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	13.00	76kw×0.175
運転手（特殊）	人	0.19	1／5.2h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計（時間当たり）	時　間		
計（分当たり）	分		

備考：17－01－030 レーキドーザ地拵、~~17－01－200 土坊主整地、~~17－01－220 倒木整理、17－01－230 稚樹及び根曲竹除去に適用する。

~~02－17－090　ブルドーザ運転~~

~~湿地10ｔ　（時間）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~10.00~~	~~71kw×0.144~~
~~運転手（特殊）~~	~~人~~	~~0.20~~	~~1／4.9h~~
~~機　械　損　料~~	~~時　間~~	~~1.00~~	~~=~~
~~計~~	~~=~~		~~=~~

~~備考：17－01－210 谷地坊主除去に適用する。~~

02－17－100　レーキドーザ運転

湿地13ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	16.00	93kw×0.175
運転手（特殊）	人	0.13	1／7.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－01－230 稚樹及び根曲竹除去に適用する。

02－17－110　バックホウ運転

油圧クローラ型0.45m3（0.35m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－02－100 フィルター材敷設に適用する。

02－17－120　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－02－100 フィルター材敷設に適用する。

02－17－125　不整地運搬車運転

4ｔ積・クローラ型油圧ダンプ式　（日）

種　　別	単　位	数　　量	
軽　　油	ℓ	84.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.75	指定事項
計			

備考：17－03－600 コンテナ苗運搬に適用する。

02－17－130　クレーン付トラック運転

4ｔ積　2.9ｔ吊　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.30	132kw×0.040
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－04－300 防風工（三角枠）に適用する。

02－17－190　チェンソー運転

鋸長500mm　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
混　合　油	ℓ	3.20	0.450ℓ/h×7h
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：17－09－400 除伐、17－09－510 受光・本数調整伐に適用する。

02－17－200　アスウッドマシン運転

（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	43.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：17－11－120 木材チップ舗装に適用する。

02－17－210　ホイールローダ運転

1.3～1.4m3　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	43.00	（63kw×0.144）×4.7h
運転手（特殊）	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：17－11－120 木材チップ舗装に適用する。

02－18　冬期施工機械運転

02－18－010　ホイールローダ運転

山積み1.3～1.4m3（バケット）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	44.00	指定事項
運 転 手 （ 特 殊 ）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	4.73	指定事項 排出ガス対策型（2011年規制）
計			

備考：18－02－500 工事用道路除雪に適用する。

02－18－020　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3（0.60m3）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	107.00	指定事項
運 転 手 （ 特 殊 ）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.64	指定事項 排出ガス対策型（2014年規制）
計			

備考：18－02－300 工事区域内除雪、18－02－400 工事区域内除雪（作工物周辺、法面部）に適用する。

02－18－030　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3（0.60m3）標準型・2.9t吊クレーン機能付き　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	~~18.00~~17.00	指定事項
運 転 手 （ 特 殊 ）	人	0.25	指定事項
機　械　賃　料	日	1.02	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）
計			

備考：18－03－210 Ｐタイプの設置・撤去歩掛に適用する。

02－18－050　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（小型構造物）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	72.36	指定事項
機　械　賃　料	日	1.20	指定事項
計			

備考：18－05 小型構造物防寒工に適用する。

02－18－060　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（無筋構造物 0℃以上）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	2.30	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

02－18－061　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（無筋構造物 0℃未満-5℃以上）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	3.10	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

3　単価表

（小型）不整地運搬車運転単価表　　（１日当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	摘　　要
特殊運転手		人	~~運転１ｈ労務歩掛×T~~1.00	１ｔ積未満は特殊作業員とする。
燃　料　費		ℓ	運転１ｈ燃料消費量×Ｔ	
機械賃料	油圧ダンプ式	供用日	2.18	
計				

備考　（小型）不整地運搬車の運転日当たり標準運転時間（Ｔ）は、6.9ｈ／日とする。

03－04－210　小型不整地運搬車運搬作業量（100m3・ｔ当たり）

１）２．０ｔ積小型不整地運搬車　　作業条件：バックホウ積込（山積0.8m3（平積0.6m3））

（ｈ／100m3）

	20m	40m	60m	80m	100m	150m	200m	250m	300m
粘　性　土	12.62	14.49	16.36	18.22	20.09	24.77	29.44	34.11	38.79
砂・砂質土	11.69	13.42	15.15	16.88	18.61	22.94	27.27	31.60	35.93
礫　質　土	11.69	13.42	15.15	16.88	18.61	22.94	27.27	31.60	35.93
購入砂（洗砂）	9.76	11.21	12.66	14.10	15.55	19.17	22.78	26.40	30.02
砂利・栗石・玉石	9.76	11.21	12.66	14.10	15.55	19.17	22.78	26.40	30.02

２）２．０ｔ積小型不整地運搬車　　作業条件：人力積込

（ｈ／100m3、ｈ／100ｔ）

	20m	40m	60m	80m	100m	150m	200m	250m	300m
コンクリート	34.38	36.30	38.22	40.14	42.07	46.88	51.68	56.49	61.30
木　材	20.86	22.01	23.17	24.32	25.47	28.35	31.22	34.10	36.98
鋼材・その他	19.30	20.00	20.70	21.40	22.11	23.86	25.61	27.37	29.12

03－05　モノレール運搬

1　適用範囲

本歩掛は、単軌条レールを用いるモノレール（本機の牽引能力1，000ｋｇ未満、45度）に適用する。

2　施工概要

標準的な施工フローは以下のとおりである。

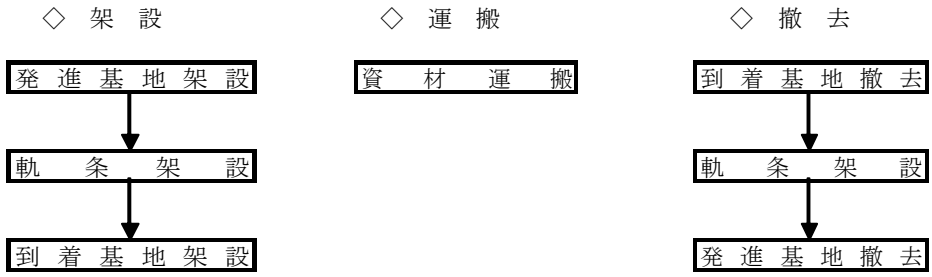


図2.1　施工フロー

備考　１　施工地域において、モノレール機材一式が調達可能かどうか確認のこと。

03－07　ケーブルクレーン運搬

03－07－100　適用範囲

本歩掛は、エンドレスタイラー式によるケーブルクレーンに適用する。

(1) ケーブルクレーン設計フローチャート

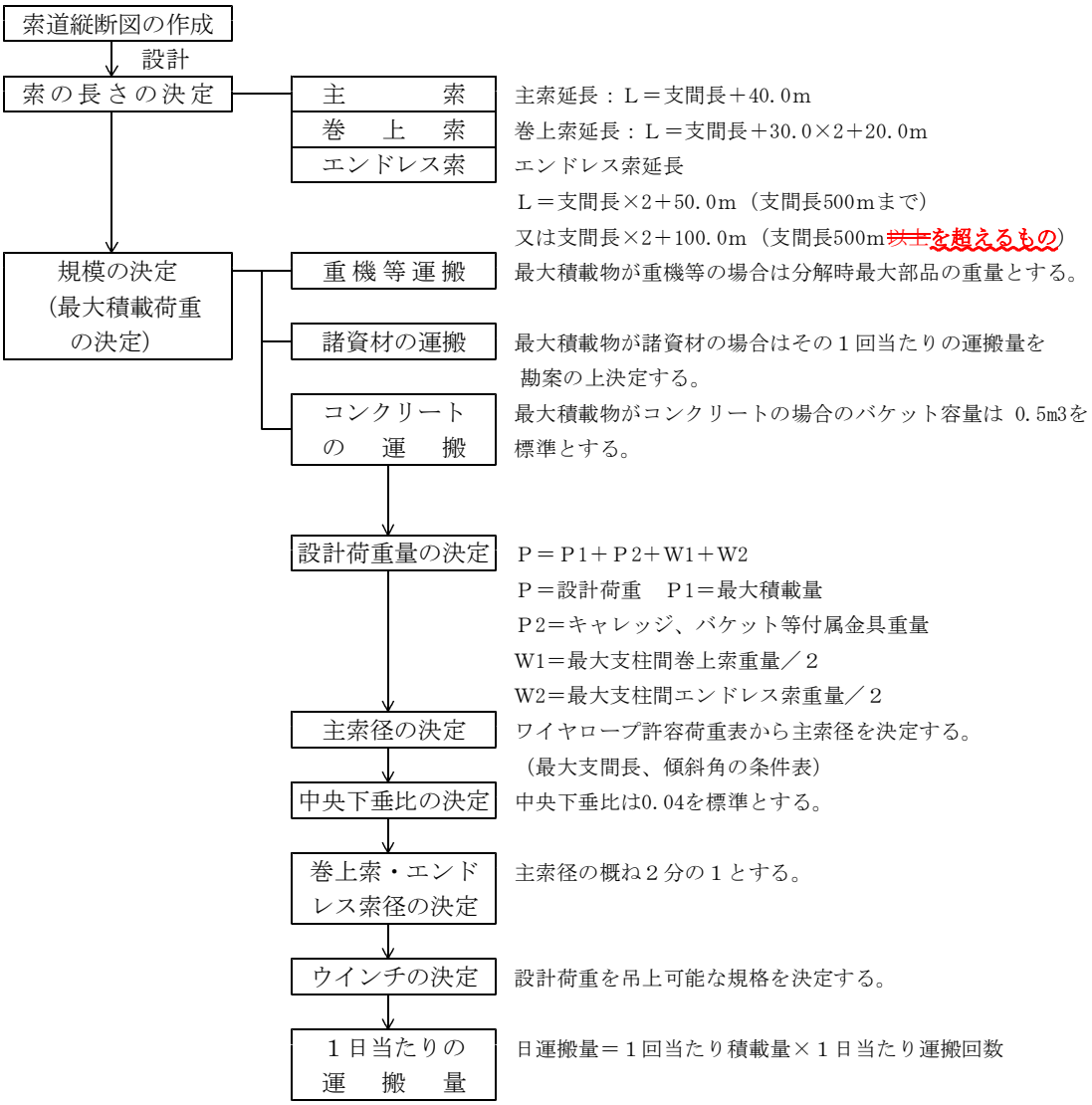


図1.1　ケーブルクレーン設計フローチャート

(2) ワイヤロープの規格及び重量

表１．１　ワイヤロープの規格及び重量表

（kg／m）

区　分	規　格	径　別　重　量			
		φ22.4	φ24	φ26	φ28
主　索	6×7 C/L(A)	1.800	2.140	2.510	2.910
区　分	規　格	径　別　重　量			
		φ12	φ14		
巻上索・横行索	6×Fi(25)IWRC	0.619	0.843		

３　現場取卸費　「20　施工パッケージ　No~~147~~151　現場取卸（鋼桁、門扉）、No~~148~~152　現場取卸（鋼管杭）」による。

03－11－500　現場発生品及び支給品の運搬「20　施工パッケージ　No~~410~~411　現場発生品及び支給品運搬」による。

03－11－600　大型車両の関係法令

１）道路を通行する運送車両は次の法令により制限を受ける。

イ．道路運送車両の保安基準（道路運送車両法）

ロ．車両制限令（道路法）

ハ．道路交通法施行令（道路交通法）

これら法令により定められた車両並びに積載貨物の大きさについては、下記に示すとおりであるが、一般的制限（無許可）を超える車両は特認車両として取扱われることになる。

各制限値を下に示す。

表1.1　法令による制限値

	車両制限令			道路運送車両の保安基準	道路交通法施行令
	一般的制限（無許可）		一般的な特認可能制度		
	高速自動車国道以外	高速自動車及び指定道路			
幅　（B）	2.5m	2.5m	3.5m	2.5m	車体幅
高　さ（H）	3.8m	3.8m	4.3m	3.8m	3.8m
長　さ（L）	12m	(18.0m) 12m	(18.0m) 16m	12m	自動車長×1.1
総重量（W）	20 t	20～25 t	個別審査	20 t	積載物の質量が制限積載質量以下
軸　重	10 t	10 t	10 t	10 t	規定なし
輪荷重	5 t	5 t	5 t	5 t	〃
最小回転半径	12m	12m	12m	12m	〃

備考１　車両のみの寸法である。

２　（　）は、フルトレーラの場合である。

３　一般的な特認可能制度とは、２）ロ．でいうＣ条件程度までをいっている。ただし、総重量はＤ区分の条件となる。

４　車両制限令の一般的制限は無許可で運行できる限度である。

５　一般的制限を超える車両は特殊車両として道路管理者に通行許可の申請を行わねばならない。
この制限値は運行する経路により条件を異にする。

６　軸距（後輪車軸の軸間距離）に応じて車両総重量の最高限度を定めている。

２）車両制限令、特認車両の審査基準

イ．車両許可寸法の制限

・通行する道路の幅員から、車両の幅に制限を受ける。

・　〃　の高さから、車両の高さに制限を受ける。

・　〃　の曲線及び交差点により、車両の長さに制限を受ける。

・　〃　の橋、高架等により、車両質量に制限を受ける。

ロ．イ．により施行条件（Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）が判定され、条件が付される。

運搬中の損料＝運搬される機械の供用１日あたり損料（円）×運搬に要する日数（日）
K’＝運搬される建設機械の運搬中の供用１日あたり損料（円）×L/（輸送速度×８）
L：運搬距離（km）
基地から現場までの片道距離とする。輸送速度:（30km/h）

（注）１．運搬に要する日数の端数処理は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位止めとする。
２．運搬に要する日数は、運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速30km/hを標準とする。
３．分解・組立を要する重建設機械の積算に当たっては、重建設機械分解組立により積算すること。なお、重建設機械分解組立輸送については、運搬中の賃料（K）を含む。
４．油圧式杭圧入引抜機（鋼矢板ＶＬ・ⅥＬ・Ⅱｗ・Ⅲｗ・Ⅳｗ型用）の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。

表1.1 基 本 運 賃 表

貨物自動車規格	機械名	規格	20km まで（円）	50km まで（円）	100km まで（円）	150km まで（円）	200km まで（円）	200kmを超え20kmまでを増毎に（円）
20t車以上30t 車まで	路面切削機	2.0m	71,000	87,000	112,000	137,000	163,000	10,200
	スタビライザ	深0.6m 幅2.0m						
	スタビライザ	深1.2m 幅2.0m						
	自走式破砕機	ｸﾗｯｼｬｰ寸法 開450mm幅925mm						
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用						
	バックホウ（超ロングアーム型）	山積0.4㎥/平積0.3㎥						
	各種	－						

（注）１.450kmを超える場合は別途考慮する。
２.誘導車、誘導員の費用を含む。

表1.2 建設機械運搬方法

機械名	規格	車載 車種	車載 機械質量(t)	備考
路面切削機（ホイール式・廃材積込装備付）	2.0m	R	28.50 (27.00)	( )内は排ガス対策型（2014年規制）の場合の機械質量
スタビライザ（路床改良用）	深0.6m 幅2.0m	R	23.00	
スタビライザ（路床改良用）	深1.2m 幅2.0m	R	24.70	
自走式破砕機	ｸﾗｯｼｬｰ寸法 開450mm 幅925mm	R	30.00	
油圧式杭圧入引抜機（硬質地盤専用）	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	R	29.70	
バックホウ（超ロングアーム型）	山積0.4㎥/平積0.3㎥	R	22.00	

（注）１.貨物自動車による運搬を計上する。
２.車載のＲはトレーラである。
３.本表に掲載のある建設機械については、分解・組立の必要はない。

2　施工歩掛

(1) 使用機械の規格選定

分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。

表2.1　クレーンの規格選定

機械区分	規格	分解組立用クレーン	
		名称	規格
バックホウ系 オールケーシング掘削機 （クローラ式） トンネル用機械	表1.1参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （~~第２次基準値~~2014年規制）	25ｔ吊
ブルドーザ	２１ｔ級以下 ４４ｔ級以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （~~第２次基準値~~2011年規制）	25ｔ吊
クローラクレーン系	35ｔ吊以下 （ｸﾗﾑｼｪﾙ平積0.6m3含む）	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （~~第２次基準値~~2014年規制）	25ｔ吊
	80ｔ吊以下 （ｸﾗﾑｼｪﾙ平積2.0m3含む）		
	150ｔ吊以下 （ｸﾗﾑｼｪﾙ平積3.0m3含む）	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （第３次基準値）	60ｔ吊
	300ｔ吊以下		
トラッククレーン系	表1.1参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （2014年規制）	70ｔ吊
クローラ式杭打機	質量 60ｔ以下 質量100ｔ以下 質量150ｔ以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （2014年規制）	60ｔ吊
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕	表1.1参照（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・基礎工事用・排出ガス対策型(~~第３次基準値~~2014年規制)］70～90ｔ吊を使用する場合）	クローラクレーン ［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・基礎工事用・排出ガス対策型 （~~第３次基準値~~2014年規制）］	70～90ｔ吊
	~~表1.1参照（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型(第３次基準値)］100ｔ吊を使用する場合）~~	~~クローラクレーン 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 排出ガス対策型(第３次基準値)~~	100ｔ吊
	表1.1参照（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・基礎工事用・排出ガス対策型(~~2011~~2014年規制)］100ｔ吊を使用する場合）	クローラクレーン 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・基礎工事用・排出ガス対策型 （~~2011~~2014年規制）	

備考１　上表に無い機種又は、現場条件等により上表により難い場合は別途選定することができる。

２　ラフテレーンクレーンは賃料とし、クローラクレーンは損料とする。

(2) 歩　　掛

分解組立１台１回当たり歩掛は、次表とする。

表2.2　歩　　掛

機械区分	規格区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費等率 (%)	諸雑費率 (%)
ブルドーザ	21ｔ吊以下	2.8	2.1	155	21
	44ｔ級以下	4.6	3.4	153	21
バックホウ系	山積1.4m3以下 〔油圧ｸﾗﾑｼｪﾙﾃﾚｽｺﾋﾟｯｸ0.4m3以上0.6m3以下含む〕	2.7	1.4	250	24
	山積2.1m3以下	4.5	2.3	256	25
クローラクレーン系	35ｔ吊以下 〔クラムシェル平積0.6m3以下〕	3.0	0.8	444	22
	80ｔ吊以下 〔クラムシェル平積2.0m3以下〕	5.5	1.5	434	21
	150ｔ吊以下 〔クラムシェル平積3.0m3以下〕	11.3	3.1	315	15
	300ｔ吊以下	20.5	5.7	313	15
トラッククレーン	120ｔ吊以下	4.3	1.5	394	75
	160ｔ吊以下	5.7	1.9	409	78
	360ｔ吊以下	11.7	4.0	399	75
	550ｔ吊以下	20.9	7.1	401	76
クローラ式杭打機	60ｔ以下	8.6	2.1	163	2
	100ｔ以下	15.5	3.7	164	2
	150ｔ以下	23.5	5.6	163	2
ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機（クローラ式）	－	3.9	3.4	595	5
ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機（スキッド式）	（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型・基礎工事用・排出ガス対策型（~~第３次基準値~~2014年規制）］70～90t吊を使用する場合）	4.9	11.9 (h)	490	4
	~~（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型（第３次基準値）］100t吊を使用する場合）~~	~~4.9~~	~~11.9 (h)~~	~~370~~	~~3~~
	（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型・基礎工事用・（~~2011~~2014年規制）］100t吊を使用する場合）	4.9	11.9 (h)	361	3

備考１　上記歩掛は、分解・組立の合計であり、内訳は分解50%、組立50%である。

２　本歩掛には標準的作業に必要な装備品・専門部品は含まれている。

03－13　法面資材小運搬工

1　適用範囲

ラフテレーンクレーンによる法面資材（砂利・砕石、客土、諸資材）の小運搬に適用する。

2　機種の選定

使用する機械の機種・規格は次表を標準とする。

表2.1　機種の選定

機　械　名	規　格
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第１次基準値） 油圧伸縮ジブ型　4.9ｔ吊、16ｔ吊 20ｔ吊、25ｔ吊 35ｔ吊、~~45~~50ｔ吊

備考１　ラフテレーンクレーンは賃料とする。
　　２　現場条件により、これにより難い場合は別途選定する。
　　３　作業半径は、吊り上げ高さ及び吊り上げ質量により選定する。
　　４　ラフテレーンクレーンの規格は「森林土木事業設計参考資料」より選定する。

3　施工歩掛

03－13－100　ラフテレーンクレーン小運搬工　(SQ0306)

法面資材（砂利・砕石、客土、諸資材）小運搬歩掛（最大法直高25m未満）は次表とする。
なお、本歩掛は、法面工のうち、フトン篭、地下排水、植栽等に適用し、法枠工には適用しない。

表3.1　法面資材小運搬歩掛〔25m未満〕

（10m3・10ｔ当たり）

名　称	規　格	単位	小運搬区分			備　考
			砂利･砕石 (10m3)	客　土 (10m3)	諸資材 (10t)	
土木一般世話役		人	0.17	0.15	0.09	
特殊作業員		〃	0.17	0.16	0.09	
普通作業員		〃	0.60	0.55	0.32	
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型○○ｔ吊	日	0.28	0.25	0.15	

（注）最大法直高が２５ｍ以上の場合は、５ｍを超える毎に表3.1に表3.2を加算するものとする。

表3.2　法面資材小運搬歩掛〔25m以上加算分〕

（10m3・10ｔ当たり）

名　称	規　格	単位	小運搬区分			備　考
			砂利･砕石 (10m3)	客　土 (10m3)	諸資材 (10t)	
土木一般世話役		人	0.01	0.01	0.01	
特殊作業員		〃	0.01	0.01	0.01	
普通作業員		〃	0.04	0.04	0.01	
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型○○ｔ吊	日	0.02	0.02	0.01	

表3.3　法面資材小運搬１回当たり質量（ｔ）

砂利・砕石	客　土
0.8	1.2

04－02　人力投入打設

04－02－100　人力投入打設（SPX123）

「20　施工パッケージ　No.~~153~~157　コンクリート」による。

04－03　コンクリートポンプ車打設

1　機種の選定

コンクリートポンプ車の標準機種は、次表とする。

表１．１　機種の選定

機　　種	規　　格
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式　90～110m3/ｈ

2　施工歩掛

04－03－100　コンクリートポンプ車打設（SQ0404）

(1) 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設歩掛（林道事業及び治山事業（山腹工））

「20　施工パッケージ　No.~~153~~157　コンクリート」による。

(2) 施工歩掛（治山事業（治山ダム工））（SPL101）

１）コンクリートポンプ車打設の標準打設労務歩掛は、次表とする。

表２．２　コンクリートポンプ車打設歩掛（治山事業（治山ダム工））

（人/10m3当たり）

区　分		世　話　役	特殊作業員	普通作業員
打設（A）	無筋構造物	0.2	0.3(0.2)	0.8
	鉄筋構造物	0.2	0.5(0.4)	0.8
打設（B）	無筋構造物	0.3	0.6(0.5)	1.5
	鉄筋構造物	0.3	0.8(0.6)	1.5

備考１　打設区分は、以下のとおりとする。

打設（A）：設計日打設量30m3以上の場合に適用する。

打設（B）：設計日打設量30m3未満の場合に適用する。

２　上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。なお、コンクリートポンプ車圧送料金について見積により積算する場合は、()書きの歩掛を適用する。

３　この歩掛には、圧送延長30mまでの~~圧送管組立・撤去労務~~費用を含む。圧送延長30mを超える~~圧送管組立・撤去を必要とする~~場合は04－03－200(2)の圧送管組立・撤去歩掛により計上する。

４　諸雑費は、バイブレータ・高周波発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の諸経費率を乗じた金額を上限として計上する。

表２．３　諸雑費率　　（%）

諸　雑　費　率
1

５　コンクリート養生費は、04－07のコンクリート養生工により別途積算する。ただし、防寒養生費を計上する場合は04－07のコンクリート養生工を計上しないこと。

04－03－200　コンクリートポンプ車圧送管組立・撤去（SPX123）

(1) 圧送管組立・撤去（林道事業及び治山事業（山腹工））

「20　施工パッケージ　No.~~153~~157　コンクリート」による。

(2) 圧送管組立・撤去（治山事業（治山ダム工））（SQ0405）

コンクリートポンプからの作業範囲が30mを超える場合は、超えた部分の圧送管延長分について次表の労務を、組立・撤去歩掛として計上する。

表２．６　圧送管組立・撤去歩掛

（10m当たり）

延　長　（m/回）	普通作業員（人）	
	組立労務	撤去労務
150未満	0.5	0.4
150以上	0.3	0.3

備考１　この歩掛は、圧送~~管実~~延長が30m~~以上の~~を超える部分に適用する。

（１現場当たり１回仮設費とする）

ただし、現場条件等により、複数回の組立・撤去が必要となる場合、延長区分に応じた延べ延長を仮設費として積算するものとする。

２　圧送管の固定足場を必要とする場合は、別途積算する。

３　圧送管~~（パイプ）~~の損料は、~~実延長~~圧送延長が30mを超える部分について別途積算する。

（参　　考）

コンクリートポンプ車の設計日打設量は、コンクリート打設量（V）とコンクリート打設回数（N）により算出し、歩掛を適用する。

$$設計日打設量＝\frac{コンクリート打設量（V）}{コンクリート打設回数（N）}$$

なお、コンクリート打設回数（N）は、次による。

①　治山ダム等

１リフト高 2.0mを上限として、構造物の打設回数（N）を求める。

ただし、平行作業が可能な構造物群（同時打設可能）についても考慮する。

②　土留工、擁壁工等

１構造物について、２打設区画程度（伸縮継目等で区切られた区画）を限度として構造物の打設回数（N）を求める。原則として、リフト高の制限はしない。

(1) 配管打設の場合、敷設に必要な伐開・掻き均し及び固定足場（受枠）等を見込むことができるものとする。なお、この場合配置計画図（平面図・縦断図・構造図等）を作成すること。

(2) ポンプ打設用コンクリートの積算

１）コンクリートの配合条件

ア　設計基準強度　　Σck＝16N/mm2

イ　スランプ　　８cm

（特にポンプ施工でなければ不可能な場合は、12cmまで認める）

ウ　粗骨材の最大寸法　40mm

２）粗骨材の最大寸法と輸送管径の関係

表3.7　粗骨材の最大寸法と輸送管径の関係

粗骨材の大きさ（mm）		輸送管径の最小値
砂　　利	砕　　石	（mm）
25	25	100（４Ｂ）
40	－	125（５Ｂ）
－	40	150（６Ｂ）

04－04　クレーン車打設

04－04－100　小型構造物クレーン車打設

「20　施工パッケージ　No.~~153~~157　コンクリート」による。

04－04－200　クレーン車打設（治山事業（治山ダム工））（SQ0406）

1　適用範囲

本歩掛は、治山事業（治山ダム工）におけるクレーン車打設に適用する。

2　施工歩掛

表2.1　クレーン車打設歩掛（治山事業（治山ダム工））

（10m3当たり）

名　　称	単　位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
世　話　役	人	0.2	0.2	0.8
特殊作業員	〃	0.6	0.8	2.5
普通作業員	〃	0.7	0.9	3.3
ラフテレーンクレーン運転 （クローラクレーン運転）	日 （h）	0.20 （1.4）	0.27 （1.9）	0.79 （5.5）
諸雑費率	%	2	2	2

備考１　上表には、運搬バケットへのコンクリート積込及び玉掛作業等を行う機械付補助労務を含む。

２　ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

３　諸雑費は、バイブレータ・コンクリートバケット損料及び電力に関する経費等の費用であり、上表の労務費、クレーン車の機械損料（ラフテレーンクレーンについては賃料）、運転経費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

４　コンクリート養生費は、04－07のコンクリート養生工により別途積算する。ただし、防寒養生費を計上する場合は04－07のコンクリート養生工により計上しないこと。

５　クローラクレーンを使用する場合は（　）書きの数量を適用し、単位は時間である。

04－06　打継面清掃

1　適用範囲

本歩掛は、平均厚さ１ｍ程度以上のマッシブなコンクリート構造物を打継ぐ場合の打継面のレイタンス除去、水洗い等に適用する。なお、旧コンクリートに新たにコンクリートを打継ぐ場合の打継面処理（チッピング）は05－11－100を適用すること。

2　施工歩掛

04－06－100　打継面清掃（SQ0407）

表2.1　打継面清掃歩掛　（10m3当たり）

名　　称	単　位	数　　量	摘　　要
世　話　役	人	0.02	
普通作業員	〃	0.10	
諸雑費率	%	12	

備考　諸雑費率は、高圧洗浄機、発動発電機等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

04－07　コンクリート養生工

04－07－100　コンクリート養生工（SQ0408）

本表は、一般養生における歩掛であり、特殊養生には適用しない。なお、冬期養生については「18－04　防寒養生費」を適用する。

表1.1　コンクリート養生工歩掛

（10m3当たり）

名　　称	単　位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
土木一般世話役	人	0.08	0.05	0.18
普通作業員	人	0.25	0.13	0.52
諸　雑　費	%	10	21	13
計				

備考１　本表は、一般養生による歩掛であり、特殊養生（電気養生、冬期養生等）を必要とする場合は、別途積算する。

２　普通作業員は、被覆、取除き、散水一切を含む。

３　諸雑費は、シート・養生マット、角材・パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に本表の率を乗じた金額を上限として計上する。

04－08　水抜きパイプ取付

04－08－100　水抜きパイプ取付（SQ0401）

表1.1　水抜きパイプ取付歩掛

（１箇所当たり）

名　　称	規　　格	単　位	20cm未満	20cm以上
水抜きパイプ	損耗量５％	m		
型　枠　工		人	0.04	0.08
計				

備考　本表は、04－09－700治山ダム型枠の設置・撤去歩掛を計上し、必要のある場合のみ適用する。

04－09　型枠工

１　型枠の選定基準

表1.1　型枠の選定基準

種　別	適　用　構　造　物　の　種　類
鉄筋構造物	・突桁式・扶壁式擁壁、橋台、橋脚、ボックスカルバート等の鉄筋量の多い構造物及びその他鉄筋量の多い構造物。
無筋構造物	・重力式擁壁、土留工、護岸工等のかなりマッシブな無筋構造物。 ・比較的単純な鉄筋を有する半重力式擁壁、土留工、橋台等の構造物。 ・コンクリート流路工、帯工。
小型構造物	・鍬止擁壁、土留工、護岸工、流路工等で最大高さ１m程度の構造物。 ・水路側溝、土留工、護岸工、流路工、なだれ防止柵の基礎等で、断面積が１m2以下で連続している構造物。 ・横断管渠の基礎、呑吐口の擁壁（ただし１m未満）、ガードケーブルの端末支柱基礎。 ・積ブロック天端、打止コンクリート。 ・コンクリート枠等のように比較的コンクリート量が少ない計上の複雑な構造物。 ・道路照明、標識、防護柵の基礎等の少量のコンクリート量で点在している構造物。
均し~~基礎~~ コンクリート	・樋門、樋管の均し、ボックスカルバートの均し、構造物の均し、雨水桝等の均し。 ・積ブロックの基礎。
治山ダム	04－09－700を参照。

04－09－400　一般型枠の製作・設置・撤去（SPX125）

「20　施工パッケージ　No.~~155~~159　型枠」による。

なお、型枠用合板に道産材を使用する場合は、コンクリート型枠用合板との差額を計上し、転用回数は鉄筋・無筋構造物は１．５回、小型構造物は１．３回を標準とする。

04－09－500　合板円形型枠の製作・設置・撤去
「20　施工パッケージ　No.~~155~~159　型枠」による。

04－09－600　均し基礎型枠の製作・設置・撤去
「20　施工パッケージ　No.~~155~~159　型枠」による。
　なお、型枠用合板に道産材を使用する場合は、コンクリート型枠用合板との差額を計上し、転用回数は１．３回を標準とする。

04－09－700　治山ダム型枠の設置・撤去（SQ0409）

表1.1　治山ダム型枠の設置・撤去歩掛

（10m2当たり）

名　　称	規　　格	単　位	ケーブルクレーン	ケーブルクレーン以外
世　話　役		人	0.29	0.29
型　枠　工		〃	1.57	1.57
普通作業員		〃	1.36	1.36
諸　雑　費	上記労務費計×率	%	20.00	40.00
ケーブルクレーン運転		日	0.30	－
計				

備考１　本表は、渓間構造物のうち、谷止工、床固工の本体等に適用する。ただし、治山ダムの増厚・嵩上げに係る型枠工は、別途積算することができる。
　また、谷止工、床固工本体と一体的に施工する間詰、側壁等に適用するものとし、谷止工、床固工本体と分離して施工する場合には適用しないこと。
２　基礎地盤が岩盤で掘削面の不陸調整が困難なため、型枠の設置に支障が生じる場合等は、必要に応じて均しコンクリートを別途計上することができる。
~~２~~３　諸雑費は、型枠剤（鋼製又は合板）、型枠用金物、組立支持材、剥離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ、電力、仮設材の持上（下）げ機械運転に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。
~~３~~４　鋼製型枠材の最低使用日数は30日間、型枠用合板１枚当たりの使用回数は 2.3回、10m2 当たりの使用量は10m2/2.3回としている。
~~４~~５　型枠用合板に道産材を使用する場合は、コンクリート型枠用合板との差額を計上する。
　なお、転用回数は2.3回を標準とする。

04－09－950　埋型枠（合板）歩掛（SQ0421、SQ0422）
(1) 製　作　費

表1.1　埋型枠（合板）製作歩掛　（10m2当たり）

名　　称	規　　格	単　位	治　山　ダ　ム	一　　般
合板型枠	0.9×1.8×0.012m	m2	10.00	10.00
角　　材		m3	0.08	0.08
洋　　釘		kg	0.92	0.92
小　　計				
損　　率		%	70	50
型　枠　工		人	0.57	0.57
普通作業員		〃	0.25	0.25
小　　計				
計				

04－12　止水板・目地材取付

04－12－100　止水板取付（一般工作物（SPX103）、治山ダム　（SQ0414））

一般作工物は「20　施工パッケージ　No~~123~~119 止水板」による。

表1.1　止水板取付歩掛

（10m当たり）

名　　称	規　　格	単　位	治山ダム
止　水　板	材料割増率　治山＋７％	m	10.7
世　話　役		人	0.30
普 通 作 業 員		〃	0.80
計			

備考　治山ダムの止水板は、Ｃ－Ｆを標準とする。

04－12－200　目地材取付（SPX102）

「20　施工パッケージ　No~~122~~118 目地板」による。

04－13　堤名板等設置

04－13－100　堤名板等設置（SQ0402）

表1.1　堤名板等設置歩掛

（１枚当たり）

名　　称	単　位	数　　量
堤　名　板	枚	1.00
普 通 作 業 員	人	0.14
計		

備考　本表には、20m程度の材料小運搬を含む。

04－15－400　足場設置・撤去工（SQ0415）

表1.1　足場設置・撤去歩掛

（100掛m2当たり）

名　　称	規　　格	単　位	手摺先行型枠組足場	単 管 足 場	単管傾斜足場
世　話　役		人	1.6	1.9	1.5
と　び　工		〃	7.0(8.5)	6.9(8.4)	4.5(6.1)
普 通 作 業 員		〃	1.3	1.8	2.7
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転	排出ガス対策型（第３次基準値） 油圧伸縮ジブ型25ｔ吊低騒音型	日	1.4	0.8	0.8
諸　雑　費　率		%	34(31)	29(27)	33(28)

備考１　足場材の歩掛には、部材の一時的な取り外し、復旧のための作業等を含むものとする。

~~＋~~2　安全ネットが必要な場合は、（　）内の数値を計上する。

~~＊~~3　諸雑費は、足場工仮設材(賃料)等の費用であり、労務費と機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

なお、諸雑費には供用中の以下に示す足場賃料を~~含み、現場内その段取り替えに伴うすべその費用を~~含むものとする。

表1.2　仮設材内訳

種　　類	仮　設　材　内　訳
手 摺 先 行 型 枠 組 足 場	壁つなぎ、敷板、建枠、板付布枠、筋違、連結ピン、アームロック、 ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠（二段手摺の機能を有する）、幅木、階段、養生ネット（メッシュシート）、または安全ネットを~~使用~~計上した場合の安全ネット 等
単 管 足 場	丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、 壁つなぎ、敷板、足場板、階段、養生ネット（メッシュシート）、または安全ネットを~~使用~~計上した場合の安全ネット　等
単管傾斜足場	丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、 足場板、養生ネット（メッシュシート）、または安全ネットを~~使用~~計上した場合の安全ネット　等

~~＊~~4　ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

~~＋~~5　安全ネットの設置基準は、次のとおりとする。

①　必ず設置する場合

・地上高４ｍ以上の作業で物の落下等により一般通行に危険を及ぼす可能性がある場合

②　必要に応じて設置する場合

・地上高４ｍ以下の作業で物の落下等により作業員等に危険を及ぼす可能性がある場合

・作業現場内において、物の落下等により作業員等に危険を及ぼす可能性があり、安全ネットを設置することが必要と判断される場合

③　不要の場合

・上記以外の場合

04－15－800　キャットウォーク（SQ0416）

本歩掛は、特殊擁壁工の笠コンクリート等のように、作業場所が狭隘で枠組足場及び単管足場等が設置できない場合に適用する。

（施工延長10ｍ当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量
世　話　役		人	0.1
と　び　工		〃	0.4
普 通 作 業 員		〃	0.4
諸　雑　費　率		%	14

備考１　諸雑費率は、キャットウォーク、丸パイプ、直交クランプ、板付布枠、幅木等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

２　高さ方向の標準設置間隔は、1.8mとする。

04－18　構造物補修工

04－18－100　構造物補修工（ひび割れ補修工（充てん工法））（SQ0418）

1　適用範囲

本資料は、コンクリート構造物のひび割れ補修における１構造物当たりの充てん作業（ひび割れ延長300m以下）に適用する。なお、以下の条件は適用外とする。

・水中部

・道路トンネル（~~覆道、道路ボックス~~シェッド、大型カルバート等含む）

（注）１構造物とは、１橋梁や１樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。

2　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。

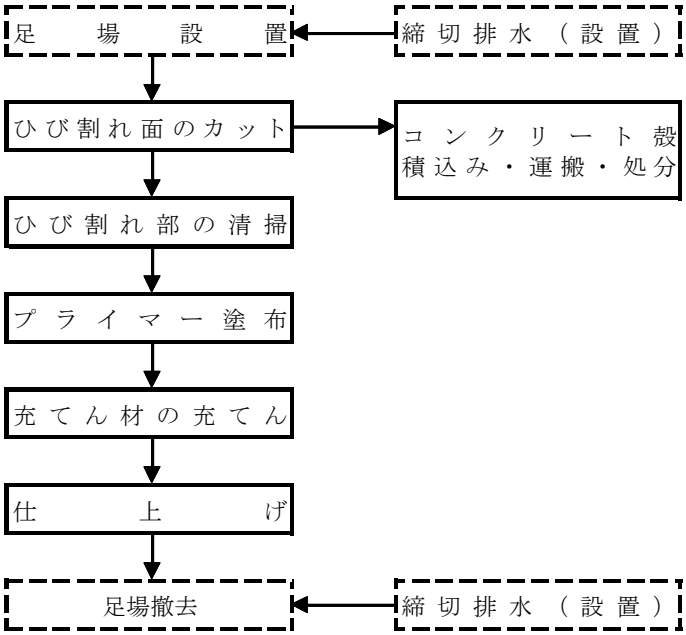


図2.1　施工フロー図

備考１　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

　　２　仕上げには養生含む。ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

3　施工歩掛

（１）　ひび割れ補修工（充てん工法）

ひび割れ補修工（充てん工法）の歩掛は、次表を標準とする。

表3.1　ひび割れ補修工（充てん工法）歩掛

［１構造物当たり補修延べ延長 20m未満の場合］

名称	単位	数量（D1） （1構造物当たり）
土木一般世話役	人	0.85
特殊作業員	人	1.3
普通作業員	人	1.1

（２）　ひび割れ補修工（充てん工法）［１構造物当たり補修延べ延長20m以上の場合］

（１構造物当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	摘　　要
土木一般世話役		人	L/10×D2	表3.2
特殊作業員		人	L/10×D2	表3.2
普通作業員		人	L/10×D2	表3.2
充てん材材料費		kg		式3.1
諸雑費		式	1	表3.3
計				

備考１　Ｌ：1構造物当たりの補修延べ延長(m)

２　D2：10m当たり施工数量

04－18－200　構造物補修工（ひび割れ補修工（低圧注入工法））(SQ0419)

１　適用範囲

本資料は、コンクリート構造物のひび割れ補修における１構造物当たりの低圧注入作業（圧縮空気、ゴムやバネの復元力などを利用して加圧できる専用器具を用いて注入を行うもの)に適用する。なお、以下の条件は適用外とする。

・グリースポンプ等の手動ポンプを用いて手動で注入を行う場合
・足踏みポンプや電動ポンプ等の機械を用いて注入を行う場合
・水中部
・道路トンネル（~~覆道、道路ボックス~~シェッド、大型カルバート等含む)

（注）１構造物とは、１橋梁や１樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。

２　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。

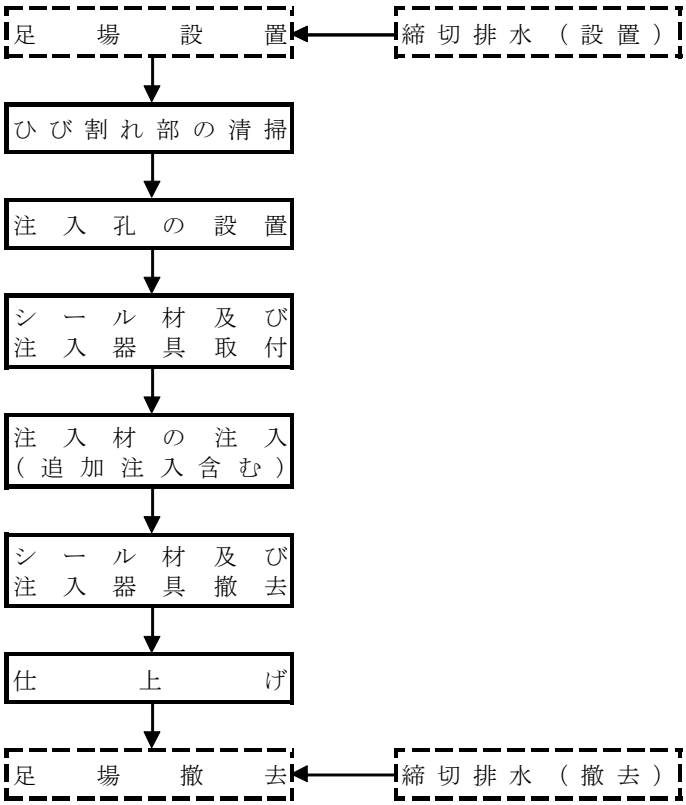


図2.1　施工フロー図

５　単価表

（１）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）［１構造物当たり補修延べ延長25m未満の場合］

（１構造物当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	摘　　要
土木一般世話役		人	D1	表3.1
特殊作業員		人	D1	表3.1
普通作業員		人	D1	表3.1
注入材		kg		必要数量計上(備考1)
シール材		kg		式3.1
低圧注入器具		個		必要数量計上(備考1)
諸雑費		式	1	表3.3
計				

備考１　必要数量とは、材料ロス分を含む
　　２　D1：1構造物当たりの施工数量

（２）　ひび割れ補修工（低圧注入工法）［１構造物当たり補修延べ延長25m以上の場合］

（１構造物当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	摘　　要
土木一般世話役		人	L／10×D2	表3.2
特殊作業員		人	L／10×D2	表3.2
普通作業員		人	L／10×D2	表3.2
注入材		kg		必要数量計上(備考1)
シール材		kg		式3.1
低圧注入器具		個		必要数量計上(備考1)
諸雑費		式	1	表3.3
計				

備考１　必要数量とは、材料ロス分を含む
　　２　L：1構造物当たりの補修延べ延長(m)
　　３　D2：10m当たり施工数量

04－18－300　構造物補修工（断面修復工（左官工法））(SQ0420)

１　適用範囲

~~本資料は、コンクリート構造物の断面修復における１構造物当たりの左官作業に適用する。なお、以下の条件は適用外とする。~~

~~・水中部~~

~~・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む）~~

~~（注）１構造物とは、１橋梁や１樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。~~

（１）　断面修復工（左官工法）

コンクリート構造物の断面修復における１構造物当たりの左官作業に適用する。
なお、以下の条件は適用範囲外とする。
・水中部
・道路トンネル（シェッド、大型カルバート等含む。）
・移動足場（高所作業車、橋梁点検車等含む）を使用した施工
（注）１構造物とは、１橋梁や１樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。

（２）　コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）

断面修復工（左官工法）により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。
なお、運搬距離が60kmを超える場合、自動車専用道路を使用する場合は適用範囲外とする。

2　施工概要

施工フローは、下図を標準とする。

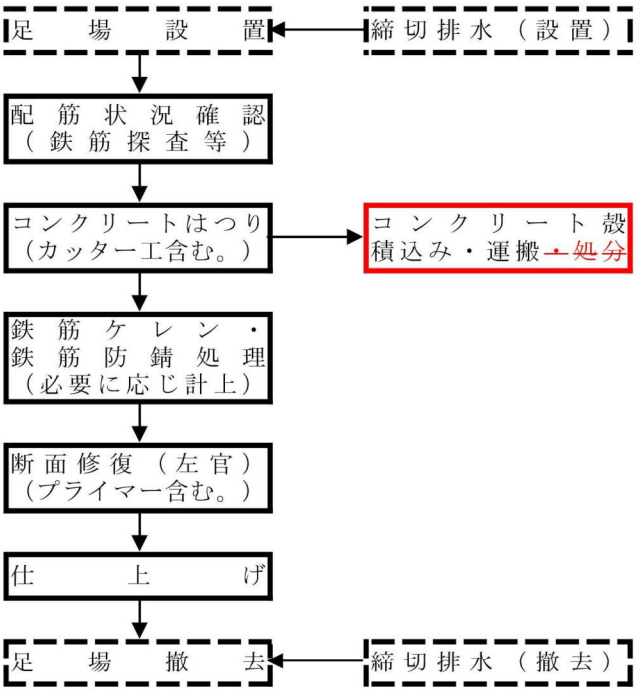


図2.1　施工フロー図

備考１　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

２　仕上げには養生~~は含まない~~を含む。

ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

３　コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。

４　処分費は別途計上とする。

３　機種の選定

コンクリート殻の運搬機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

作業種別	名称	規格
積込み及び運搬	ダンプトラック	ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 4t積級

~~３~~４　施工歩掛

（１）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む。）

コンクリートはつり（カッター工含む。）、鉄筋ケレン・防錆処理、左官（プライマー・仕上げ含む。）の歩掛は、次表を標準とする。

表~~3~~4.1　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む。）歩掛

［１構造物当たり修復延べ体積 0.1㎥未満］の場合

名　称	単　位	数量（D1）（1構造物当たり）
土木一般世話役	人	~~2.3~~2.8
特殊作業員	人	~~9.8~~5.3
普通作業員	人	~~2.5~~2.8

表~~3~~4.2　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む。）歩掛

［１構造物当たり修復延べ体積 0.1㎥以上］の場合

名　　称	単　位	数量（D2） （0.1㎥当たり）
土木一般世話役	人	~~2.3~~2.8
特殊作業員	人	~~3.8~~5.3
普通作業員	人	~~2.5~~2.8

備考１　上記歩掛は、全ての施工方向に適用できる。

２　現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

３　コンクリート殻の~~積込み・運搬及び処分費は別途計上する~~集積場所までの現場内小運搬（120mまで）を含む。

４　仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。

（２）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない。）

コンクリートはつり（カッター工含む。）、左官（プライマー・仕上げ含む。）の歩掛は、次表を標準とする。

表~~3~~4.3　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない。）歩掛

［１構造物当たり修復延べ体積 0.1㎥未満］の場合

名　　称	単　位	数量（D3） （1構造物当たり）
土木一般世話役	人	~~1.9~~2.4
特殊作業員	人	~~3.2~~4.5
普通作業員	人	~~2.1~~2.3

表~~3~~4.4　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない。）歩掛

［１構造物当たり修復延べ体積 0.1㎥以上］の場合

名　　称	単　位	数量（D4） （0.1㎥当たり）
土木一般世話役	人	~~1.9~~2.4
特殊作業員	人	~~3.2~~4.5
普通作業員	人	~~2.1~~2.3

備考１　上記歩掛は、全ての施工方向に適用できる。

２　現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。

３　コンクリート殻の~~積込み・運搬及び処分費は別途計上する~~集積場所までの現場内小運搬（120mまで）を含む。

４　仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。

（３）　コンクリート殻積込（断面修復工）

１）　日当り編成人員

コンクリート殻積込の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表4.5　日当り編成人員

名　　称	単　位	数　量
普通作業員	人	1

２）　日当り施工量

コンクリート殻積込の日当り施工量は、次表を標準とする。

表4.6　日当り施工量

作 業 種 別	単　位	数　量
人力積込み	㎥	7.7

（4） コンクリート殻運搬（断面修復工）

1） 運搬日数

ダンプトラック（オンロード・ディーゼル４ｔ 積級）による10㎥当り運搬日数は、次表による。

表4.7 殻運搬日数 （10㎥当り）

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
ＤＩＤ区間：無し								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下
運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下
運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下				
運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50				

表4.8 殻運搬日数 （10㎥当り）

運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級							
ＤＩＤ区間：有り								
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下
運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下
運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下		
運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67		

（注）１ 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。

２ ＤＩＤ（人口集中地区）は，総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。

３ 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。

４ 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。

（~~3~~5） 材料の使用量

断面修復材の使用量は、次式による。

使用量(m3) ＝ 設計数量(m3) × （1＋K） ・・・・・(式~~3~~4.1)

K：ロス率

表~~3~~4.~~5~~9 ロス率

ロス率	＋0.18

（~~4~~6） 諸雑費

諸雑費は、カッター、はつり及び鉄筋ケレン作業に必要な器具（電動ピック、ディスクサンダー、替え刃、集塵機、ほうき等）、防錆処理・プライマー塗布作業に必要な器具（~~ディスクサンダー~~刷毛、ハンドミキサー等）及び材料、左官作業に必要な器具（金コテ、ハンドミキサー等）、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表~~3~~4.~~6~~10 諸雑費率 （%）

条　　件	1構造物当たり補修延べ体積	諸雑費率
鉄筋ケレン・防錆処理を含む	0.1㎥未満の場合	~~11~~8
	0.1㎥以上の場合	~~11~~8
鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	0.1㎥未満の場合	~~9~~6
	0.1㎥以上の場合	~~9~~6

5　単価表

（１）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む。）

［１構造物当たり修復延べ体積0.1㎥未満］の場合

（１構造物当たり）

名　　称	規　格	単　位	数　量	摘　　要
土木一般世話役		人	D1	表~~3~~4.1
特殊作業員		人	D1	表~~3~~4.1
普通作業員		人	D1	表~~3~~4.1
断面修復材		㎥		式~~3~~4.1
諸雑費		式	1	表~~3.6~~4.10
計				

備考１　D1：1構造物当たりの施工数量

（２）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含む。）

［１構造物当たり修復延べ体積0.1㎥以上］の場合

（１構造物当たり）

名　　称	規　格	単　位	数　量	摘　　要
土木一般世話役		人	V／0.1×D2	表~~3~~4.2
特殊作業員		人	V／0.1×D2	表~~3~~4.2
普通作業員		人	V／0.1×D2	表~~3~~4.2
断面補修材		㎥		式~~3~~4.1
諸雑費		式	1	表~~3.6~~4.10
計				

備考１　V：1構造物当たりの修復延べ体積(㎥)

２　D2：0.1㎥当たり施工数量

（３）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない。）

［１構造物当たり修復延べ体積0.1㎥未満］の場合

（１構造物当たり）

名　　称	規　格	単　位	数　量	摘　　要
土木一般世話役		人	D3	表~~3~~4.3
特殊作業員		人	D3	表~~3~~4.3
普通作業員		人	D3	表~~3~~4.3
断面修復材		㎥		式~~3~~4.1
諸雑費		式	1	表~~3.6~~4.10
計				

備考１　D3：1構造物当たりの施工数量

（４）　断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・防錆処理を含まない。）

［１構造物当たり修復延べ体積0.1㎥以上］の場合

（１構造物当たり）

名　　称	規　格	単　位	数　量	摘　　要
土木一般世話役		人	V／0.1×D4	表~~3~~4.4
特殊作業員		人	V／0.1×D4	表~~3~~4.4
普通作業員		人	V／0.1×D4	表~~3~~4.4
断面補修材		㎥		式~~3~~4.1
諸雑費		式	1	表~~3.6~~4.10
計				

備考１　V：1構造物当たりの修復延べ体積(㎥)

２　D4：0.1㎥当たり施工数量

（5） コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）単価表

（１０㎥当り）

名　　称	規　　格	単　位	数　量	摘　　要
普 通 作 業 員		人	1×10／D	表 4.5、表 4.6
ダンプトラック運転	ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 4t積級	日		表 3.1、表 4.7～表 4.8
諸　雑　費		式	1	
計				

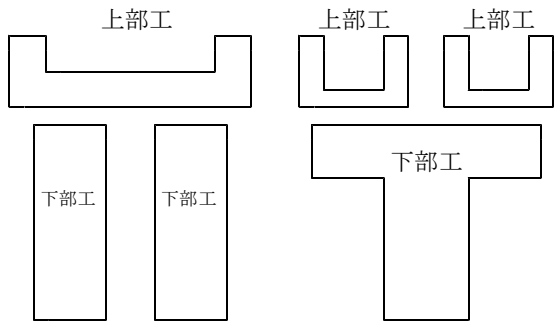
（注）Ｄ：日当たり施工量

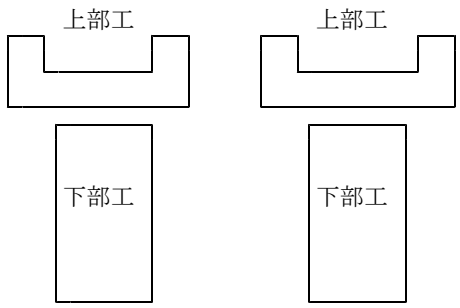
（6） 機械運転単価表

機　械　名	規　　格	指　定　事　項	適用機械工歩掛
ダンプトラック	ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ 4t積級	運転労務数量→0.89 燃料消費量→19.20 機械損料数量→1.02	02-04-100

【参考】1構造物について（橋梁）

1構造物と考える場合（例）	1構造物と考えない場合（例）
上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1構造物と考える。	上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した橋梁の場合は、2構造物と考える。





05　取りこわし工

05－01　総　　則

05－01－100　適用範囲

1　本資料は、既設コンクリート構造物の取壊しに適用する。
　ただし、建築物及び舗装版の取壊しには適用しないこと。

2　本歩掛は、構造物の取壊し及び作業場内の片付けで床掘、埋戻し、コンクリート殻の積込、運搬等の搬出は含まない。

3　取りこわしコンクリート殻の処理は土工（破砕岩）を適用する。

05－01－200　機械によるコンクリート構造物取壊し

取壊しの主たる作業機械が、大型ブレーカ、コンクリートブレーカ、コンクリート圧砕機の場合は、「00－03-050　構造物とりこわし工」による。

05－09　コンクリート管類切断加工

05－09－100　コンクリート管類切断加工（SQ0510）

表1.1　コンクリート管類切断加工歩掛

（切断長100m当たり）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量
普　通　作　業　員		人	0.67
諸　　雑　　費		%	56

備考１　管周長の切断長（直・斜・曲）に適用する。
　　２　諸雑費は、コンクリートカッタ・ほうき等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

05－10　人力はつり工

「20　施工パッケージ　No.~~116~~112　コンクリートはつり」による。

05－11　打継面処理工

05－11－100　打継面処理（チッピング）工（SQ0513）

1　適用範囲

本歩掛は、旧コンクリートにコンクリートを打継ぐ場合に適用するものとし、継続工事の打継面処理には適用しない。

2　施工歩掛

表2.1　打継面処理歩掛

（10m2当たり）

名　　称	単　位	数　　量
世　話　役	人	0.1
特殊作業員	〃	0.6
諸　雑　費	%	32

備考　諸雑費には、電力に関する経費、空気圧縮機、削岩機の運転経費の費用であり、労務費の合計額に本表の率を乗じた金額を上限として計上する。

05－12　コンクリート穿孔

「20　施工パッケージ　No.~~118~~114　コンクリート削孔（電動ハンマドリル40mm）、No.~~119~~115　コンクリート削孔（さく岩機）、No.~~120~~116　コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）」による。

05－13　旧橋撤去工

「20　施工パッケージ　No.~~126~~122　高欄撤去、No.~~127~~123　アスファルト舗装版破砕・積込み、No.~~128~~124　床版１次破砕・撤去、No.~~129~~125　床版１次及び２次破砕・撤去、No.~~130~~126　桁１次切断・撤去、No.~~131~~127　桁１次及び２次切断・撤去、No.~~132~~128　アスファルト塊運搬、No.~~133~~129　床版運搬」による。

05－14　取りこわしコンクリート殻処理

「20　施工パッケージ　No.~~151~~155　殻運搬」による。

05－15　吹付法面取りこわし工

「20　施工パッケージ　No.28　吹付法面取壊し」による。